

# 100年 カンパニー の知恵。

NTN (大阪市)

since 1918

下

## 暮らし支える技術を

「ベアリングって、いろんな機械を動かすために絶対必要なものなんだよ」。今年5月、NTNは全国8カ所でイベント「回る学校」を開催。ベアリングに使われる鋼球をつなげたこまなどを通じ、摩擦のメカニズムやベアリングについて楽しそうに学ぶ子供たちの姿が見られた。

100周年事業として自転車ロードレース「ツアー・オブ・ジャパン」に協賛。「回る学校」もその一環として開催された。「自転車にもベアリングは使われているが、知らない人も少ない。ベアリングが私たちの生活と大きく関わっていることを理解してもらうためにも、改めてふれあいが大切と感じた」と話すのはプロシエクトリダーの井口耕平さん。BtoB(企業間取引)企業として、じくじたる思いをのぞかせる。

滑らかな  
社会の実現に  
向けて

そんな思いから、4月には「な(N)んて(T)な(N)めらか」をキャッチコピーにしたテレビCMを開始。本社工場も、さまざまなベアリングを展示するショールームにリニューアルした。

特に今、アピールに努めているのが、環境に優しい商品としてのベアリングの魅力だ。もともと摩擦を減らし、効率よく動かす技術であり、エネルギー消費を抑えることで、暮らしを支え続けてきた。

そして昨年からは新たに「自然エネルギー事業」に進出。これまでも風力発電用の大型ベアリングを製造していたが、設置が簡単な「マイクロ水車」や、太陽光と風力で発電する「ハイブリッド街路灯」の開発などに乗り出し、今後の成長が期待される。

大久保博司社長は「エネルギー事業をはじめ、これまで培ってきた技術をもとに、なめらかに回り続ける循環型社会を実現していきたい」と未来を見据えている。

【大道寺峰子】



5月に開催された「回る学校」の様子＝NTN提供